エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【野菜茶業研究所　アイソトープ実験室ほか】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名称	用途	場所	種類	帳簿価額
アイソトープ実験室及び附属設備	研究業務用	三重県津市安濃町	建物	7,104,459円
			構築物	986,535円
アイソトープ実験室附属温室	研究業務用	三重県津市安濃町	建物	1,218,738円

イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、放射性同位元素を用いた分子生物学的解析に利用するための研究用施設及び栽培試験用施設として使用してきましたが、経年劣化による老朽化が著しく、使用しないと決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

資産名称	種類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
アイソトープ実験室及び附属設備	建物	0円	7,104,459円
	構築物	0円	986,535円
アイソトープ実験室附属温室	建物	0円	1,218,738円

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

②　当事業年度において減損の兆候が認められた固定資産は以下のとおりです。

【北海道農業研究センター　総合調査室(A)ほか】

ア　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

資産名称	用途	場所	種類	使用しなくなる日
総合調査室(A)及び附属設備	研究業務用	北海道札幌市	建物	平成25年度(予定)
			構築物	
総合調査室(B)	研究業務用	北海道札幌市	建物	平成25年度(予定)
調査脱穀選抜室	研究業務用	北海道札幌市	建物	平成25年度(予定)
牧野管理調査室及び附属設備	研究業務用	北海道札幌市	建物	平成26年度(予定)
			構築物	
草地調査室	研究業務用	北海道札幌市	建物	平成26年度(予定)

イ　兆候の概要

当該資産は、試料の調整、分析及び農機具類の保管等の施設として使用してきましたが、経年劣化による老朽化が著しく、他の施設へ機能を集約することから、平成25年度以降に廃止決定し、使用しなくなる日以後に処分することとしております。

ウ　減損の認識に至らない根拠

当該資産は、当事業年度期末時点で使用しております。

エ　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

資産名称	種類	帳簿価額	回収可能サービス価額（見込額）	減損額（見込額）
総合調査室(A)及び附属設備	建物	1,852,280円	0円	1,852,280円
	構築物	147,200円	0円	147,200円
総合調査室(B)	建物	1,000,012円	0円	1,000,012円
調査脱穀選抜室	建物	1,530,681円	0円	1,530,681円
牧野管理調査室及び附属設備	建物	1,161,239円	0円	1,161,239円
	構築物	49,256円	0円	49,256円
草地調査室	建物	719,123円	0円	719,123円

(5)　不要財産に係る国庫納付等に係る注記

①　通則法第46条の２第１項による国庫納付（政令第２条の２）

種類	帳簿価額	理由	国庫納付額
現金及び預金	1,719,806円	委託先研究機関の不適正な経理処理の判明に伴い委託費の返還請求を行ったもの	1,719,806円
現金及び預金	581,426円	委託先研究機関の経理処理の誤謬の判明に伴い委託費の返還請求を行ったもの	581,426円
合計	2,301,232円		2,301,232円

譲渡収入より控除した費用の額　0円
国庫納付が行われた年月日　平成25年３月22日
減資額　0円

②　通則法第46条の２第１項による国庫納付（政令第２条の３）

種類	帳簿価額	理由	国庫納付額
現金及び預金	223,380,000円	中期計画に定めた通則法第30条第２項第４号の２の計画に基づく国庫納付額（旧出資事業に係る株式の処分に伴う回収金の一部の額）	223,380,000円

譲渡収入より控除した費用の額　0円
国庫納付が行われた年月日　平成24年12月27日
減資額　223,380,000円